

# 広東省高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：平成 28 年 7 月 13 日（水） - 19 日（火）

愛知県政策企画局国際課

# 報告書目次

1	広東省高校生訪問団一行名簿	1
2	全体行程	2
3	行程の詳細	
(1)	第1日目(7月13日(水))	3
	来日	
	オリエンテーション	
(2)	第2日目(7月14日(木))	3
	豊田スタジアム見学	
	豊田東高校訪問	
	歓迎会(アイリス愛知)	
(3)	第3日目(7月15日(金))	9
	副知事表敬	
	名古屋大学訪問	
	トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館見学	
	とよたエコフルタウン見学	
(4)	第4日目(7月16日(土))	13
	あいちスーパーイングリッシュハブスクール生徒との英語ディスカッション	
	ホームステイ	
(5)	第5日目(7月17日(日))	15
	ホームステイ	
(6)	第6日目(7月18日(月・祝))	16
	ピンポン外交モニュメント	
	名古屋城	
	ミツカンミュージアム	
	修了式	
(7)	第7日目(7月19日(火))	18
	帰国	
(参考)	参加者アンケート(まとめ)	19

## 1 広東省高校生訪問団一行名簿

### ◆高校生(20名)

No.	名前(読み方)	所属	性別
1	李 雪君 (り・せつくん)	広東省佛山市第一中学	女
2	関 嘉堯 (かん・かぎょう)	同上	女
3	招 雨彤 (しょう・うとう)	同上	女
4	黄 韵彤 (こう・いんとう)	同上	女
5	劉 翔宇 (りゅう・しょうう)	同上	女
6	劉 若泓 (りゅう・じゃくこう)	同上	女
7	甄 梓鍼 (しん・しせい)	同上	男
8	盧 雨軒 (ろ・うけん)	同上	男
9	陳 治帆 (ちん・じはん)	同上	男
10	斉 霽 (せい・さい)	同上	男
11	譚 志満 (たん・しまん)	広東省佛山市第三中学	男
12	王 子清 (おう・しせい)	同上	男
13	盧 安童 (ろ・あんどう)	同上	女
14	馮 時熙 (ふう・じし)	同上	男
15	方 琦 (ほう・き)	同上	女
16	馮 嘉熾 (ふう・かき)	同上	女
17	張 浩華 (ちょう・こうか)	同上	男
18	招 麗瑩 (しょう・れいえい)	同上	女
19	李 欣叡 (り・きんえい)	同上	女
20	詹 姆斯 (せん・むす)	同上	女

### ◆随行者(4名)

No.	名前(読み方)	所属	性別
21	呂 簪 (ろ・しん)	広東省外事弁公室	女
22	陳 玉芳 (ちん・ぎょくほう)	広東省佛山市外事僑務局	女
23	黄 広慧 (こう・こうけい)	広東省佛山市第一中学	男
24	班 璇瓊 (はん・せんけい)	広東省佛山市第三中学	女

## 2 平成28年度広東省高校生訪問団受入事業 全体日程

日付	時間	行程
7/13 (水)	20:55	中部国際空港着 (KE751) ＜宿泊：コンフォートホテル中部国際空港＞
7/14 (木)	09:30-10:30 11:00-16:00 18:30-20:00	豊田スタジアム見学 愛知県立豊田東高校訪問 授業体験、生徒との交流、部活動体験等 歓迎会 (アイリス愛知) ＜宿泊：アイリス愛知＞
7/15 (金)	09:00-09:20 10:00-12:30 13:30-15:30 15:45-16:45 18:00-18:45	副知事表敬訪問 名古屋大学訪問 名古屋大学博物館見学、中国人留学生との交流 トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館見学 とよたエコフルタウン見学 夕食 (矢場とん 栄セントライズ店) ＜宿泊：アイリス愛知＞
7/16 (土)	10:00-12:00 12:00-13:30 14:00-	あいちスーパーイングリッシュハブスクール生徒との英語 ディスカッション (アイリス愛知) 交流会 ホームステイ ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
7/17 (日)	終日	ホームステイ ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
7/18 (月・祝)	09:30 10:00-11:30 11:45-12:30 14:00-15:30 16:00-17:30 18:30-19:30 19:45-20:30	アイリス愛知集合 ピンポン外交記念モニュメント&名古屋城見学 昼食 (貸座敷 まんだら・慶葉閣) ミツカンミュージアム見学 ショッピング (イオンモール常滑) 修了式 (セントレア内会議室) 夕食 (ダイニングレストランかめりあ) ＜宿泊：コンフォートホテル中部国際空港＞
7/19 (火)	09:25	中部国際空港発 (KE752)

### 3 行程の詳細

#### 【第1日目 7月13日（水）】

- 20:55 KE751便で中部国際空港着
- 21:30～21:45 日程説明
- ・随行職員：丸山総括専門員、叢主事
- ・使用言語：中国語
- ・概要：挨拶、自己紹介、日程説明、軽食配布

#### 【到着後の様子】



#### 【日程説明】



#### 【第2日目 7月14日（木）】

- 9:30～10:30 豊田スタジアム見学
- ・随行職員：丸山総括専門員、佐々木主任、叢主事
- ・使用言語：中国語
- ・概要：豊田スタジアム管理部永井主任の案内によるスタジアム見学ツアー。試合の時に選手達を使うロッカールームやウォーミングアップ室、グラウンドなどを見学。

#### 【メインスタンド席】



#### 【ロッカールーム】



【ウォーミングアップ室】



【選手のサイン入りユニフォームで記念撮影】



サッカー人気の高い広東省だけあって、生徒達は皆真剣に説明を聞いてくれました。見学後の質疑応答では、最大傾斜度 38 度もあるスタジアムで緊急時に備えて、どうやって避難訓練を行うとか、熱心に質問する生徒もいました。

○11:00～16:00 県立豊田東高校訪問

- ・ 随行職員：丸山総括専門員、佐々木主任、叢主事
- ・ 使用言語：日本語、中国語、英語
- ・ 概要：11:00～11:25 オリエンテーション（教頭挨拶、学校紹介、日程説明等）  
11:35～12:20 10人ずつ各クラスに分かれての授業体験  
12:30～12:45 ショートタイム  
12:45～13:20 教室で昼食  
13:30～14:35 歓迎行事  
（両国高校生同士による歌やダンスの披露など）  
14:40～15:10 華道体験  
15:15～16:15 International Friendship Club 部生徒との交流

【榎田教頭あいさつ&学校紹介】



【呂主任代表挨拶】



【記念品贈呈】



【授業体験の様子】



【中国古典舞踊の披露】



【カップソング (When I'm gone)】



【クラリネットの演奏】



【一緒にソーラン節を踊る】



【記念写真】



【綺麗な浴衣姿の生徒と記念撮影】



【華道体験】



【IFC 部生徒との交流】



【だるまさんがころんだを体験】





豊田東高校に到着すると、教頭先生による歓迎の挨拶と学校紹介がありました。豊田東高校には、普通科以外に、2年生から自分の興味や進路に合わせて、商業や情報など沢山の専門科目を選択し勉強できる総合学科があり、大学への進学を目指す広東省の生徒達にとって、とても興味深そうでした。

4 限目では、第一と第三中学校に分かれて英語の授業を体験しました。日中の生徒達は事前に用意した写真や自己紹介のカードを使い、お互いの文化や高校生活などを紹介し、積極的に交流を行いました。

昼食後、綺麗な浴衣に着替えた中国語選択者の生徒による交流行事が行われました。広東省の高校生達がクラリネット演奏、中国古典舞踊、英語のカップソング (When I'm gone) や中国語のドラえもん主題歌などを披露しました。一方、豊田東高校の生徒達はソーラン節を訪問団の前で披露し、最後に、訪問団も誘って、皆で一緒に踊りました。

交流行事の後、日本の伝統文化「生け花」を体験しました。先生や華道部の生徒の指導を受けながら、皆真剣にお花を生け、個性豊かな作品に仕上げました。

最後は、IFC 部生徒との交流でした。最初は教室の中で行われましたが、豊田東高校生徒の提案により、校庭で「だるまさんがころんだ」を一緒に遊ぶことになりました。中国にも似た遊びがありますが、楽しく遊んでいる様子を見ていると、本当に心から交流を楽しんでいるように思いました。

短い時間でしたが、日中両国の生徒にとって、お互いの文化を知り、理解を深める貴重な体験をすることができたと思います。

#### 《豊田東高校の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 日本人生徒と友達になれた。日本語と英語のリスニングを鍛えることができた。
- ・ 日本の高校生の日常と学校生活を体験することができ、新しい友達もできた。
- ・ 初めて日本の高校の授業を体験し、同世代の日本人生徒と交流する貴重な機会だった。
- ・ 日本の高校生活を体験することで、日中の学校文化の異同を理解することができた。
- ・ 同世代の日本人生徒の高校生活を体験できた。部活動がとても盛んである。
- ・ 生徒達皆フレンドリーでかわいかった。一生懸命私たちに声をかけてくれた。
- ・ リアルの日本の高校生活を体験できて、私の大好きな漫画などよりも印象深かった。
- ・ 日本の高校生活を体験できただけでなく、生徒達の温かい気持ちを感じることもできた。
- ・ 教師として、日本の教育に興味があり、もっと深く知りたいと思った。

○18:30～20:00 歓迎会

- ・場 所：アイリス愛知 百合の間
- ・県側出席者：平田国際監、川原課長、佐治主幹、丸山総括専門員、本庄課長補佐、佐々木主任、小澤主事、叢主事
- ・使用言語：日本語、中国語
- ・概要：国際監挨拶  
呂主任挨拶  
訪問団団員、生徒の自己紹介 等

【国際監挨拶】



【呂主任挨拶】



【生徒の自己紹介】



【記念撮影】



### 【第3日目 7月15日（金）】

○9:00～9:20 副知事表敬

- ・場 所：特別会議室
- ・県側出席者：森岡副知事、平田国際監、川原課長、佐治主幹、丸山総括専門員
- ・使用言語：日本語、中国語（県側通訳：丸山総括専門員、訪問団通訳：陳主任）
- ・概要：呂主任挨拶（中国語）  
高校生代表 齊 霽さん（日本語）、王 子清さん挨拶  
森岡副知事挨拶（日本語）  
懇談  
記念写真撮影、記念品贈呈

#### 【森岡副知事挨拶】



#### 【記念品贈呈】



#### 【高校生代表挨拶】



呂主任からは「愛知県政府の行き届いた手配により、生徒達は歴史や文化など愛知県の魅力をいっぱい体験することができました。今後はさらに両地域の関係を深め、青少年交流を含めた各分野での連携を強化していきたいと考えています」と挨拶しました。

森岡副知事は、「今回2回目となる広東省高校生訪問団の皆さんをお迎えすることができ、嬉しく思います。ぜひ愛知県で日本の文化や生活を身近に感じ、沢山の思い出を作ってほしい」と訪問団を歓迎しました。

#### 《副知事表敬の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 副知事が私たち一人一人と握手し、記念撮影までしてくれた。とても優しい方だった。
- ・ 副知事の表敬訪問は生徒の見識を高めることができた。愛知県政府の心遣いに感謝する。

○10:00～12:30 名古屋大学訪問

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、小澤主事、叢主事
- ・使 用 言 語：日本語、英語、中国語
- ・概 要：10:00～10:45 名古屋大学博物館見学  
11:00～11:30 大学説明  
11:30～12:30 中国人留学生との交流

【名古屋大学博物館見学】



【大学説明】



【中国人留学生との交流】



《名古屋大学訪問の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 留学のルートや日本での留学生活など、今後役に立つ情報を沢山聞いた。
- ・ 日本の最先端科学技術の成果と学術研究の雰囲気を経験することができた。
- ・ 高校の段階で大学生と接することによって、生徒に自分の将来や卒業後の進路について考えるいい機会だった。

○13:30～15:30 トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館見学

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、小澤主事、叢主事
- ・使 用 言 語：日本語、中国語
- ・概 要：工場ガイドの案内により、車の組立生産ラインを見学後、トヨタ会館にてトヨタの環境安全に関する最新技術や新型車など、館内の見学を行った。

【工場見学後の記念写真：ピンクのクラウン】



【トヨタ会館見学】



【トヨタ会館】



《トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 先進的な生産理念・方式・科学技術を見学することができた。
- ・ トヨタの最先端科学技術を体験することができた。特に製品品質や環境保護への取り組みを重視するところは、心から尊敬する。
- ・ 世界的に有名なトヨタ自動車の企業文化に興味があった。

○15:45～16:45 とよたエコフルタウン見学

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、小澤主事、叢主事
- ・使 用 言 語：日本語、中国語
- ・概 要：先進的な環境技術をいっぱい集約した様々な取り組みにチャレンジする次世代環境モデル地区を見学した。

【蜻蛉の翅を参考に作った風力発電のプロペラ】



【MIRAI の試乗】



【スマートモビリティパーク】



【スマートハウス】



【Winglet 試乗】



【矢場とん】



《とよたエコフルタウンの感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 先進的なエコ技術がいっぱい詰まった TOYOTA HOME が私の理想の家である。
- ・ 人類と自然の調和の取れた発展コンセプトに触れることができた。

**【第4日目 7月16日（土）】**

○10:00～13:30 県内SSH高校生との英語ディスカッション&交流会

- ・場 所：アイリス愛知 コスモス
- ・随 行 職 員：川原課長、丸山総括専門員、佐治主幹、本庄課長補佐、佐々木主任、中村主事、叢主事
- ・使 用 言 語：英語
- ・概 要：自己紹介、それぞれの地域紹介、グループディスカッション、成果発表

**【自己紹介】**



**【グループディスカッション】**



**【地域紹介】**



**【成果発表】**



**【交流会】**





ディスカッションは英語での自己紹介から始まりました。初対面で緊張している生徒達もお互いの趣味や好きな食べ物などの話に及ぶと、少しずつ緊張がほぐれていきました。その後、お互いの学校生活や日中両国の魅力、文化などについて、幅広いテーマで議論を重ね、盛り上がっていきました。最後にそれぞれのグループでディスカッションを通じて得たものを発表しました。

ディスカッション後の交流会でも話が尽きず、お互いの連絡先を交換するなど、同世代の交流を深めることができましたと思います。

#### 《英語ディスカッションの感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 初めて同世代の外国人若者との交流を通じて、自分の視野を広げることができただけでなく、沢山友達もできた。 **That's great!**
- ・ 国が違うけど、英語という共通言語で皆さんと楽しく交流できること自体が素敵なことだと思う。
- ・ 日本人の英語があんまり上手ではないイメージだったが、実際には上手に話せる生徒も多かった。
- ・ ディスカッション及びその後の交流会を通じて、日本文化に対してもっと深く理解することができた。

○13:30～

ホストファミリーと合流し、ホームステイへ



【第5日目 7月17日（日）】

○終日ホームステイ



《ホームステイの感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 日本社会の本当の姿を見ることができた。また、たくさんの日本人の優しさに触れて、自分の見識と価値観を豊かにすることもできた。
- ・ 皆さん私たちを温かく迎え入れてくれた。日本料理を作ってもらったり、京都まで連れてくれたりして、とても楽しかった。
- ・ 日本の一般家庭での日常生活を通じて、日本の文化や人々の価値観・趣味などを知ることができた。
- ・ 日本の一般民衆がとてもフレンドリーで、私たちを温かく迎え入れてくれた。愛知県の食べ物を堪能することもできた。

【第6日目 7月18日（月）】

○10:00～11:30 ピンポン外交記念モニュメント&名古屋城見学

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、佐々木主任、中村主事、叢主事
- ・使 用 言 語：日本語、英語、中国語
- ・概 要：ピンポン外交記念モニュメントを見学後、愛知・名古屋のシンボル名古屋城を見学しました。

【ピンポン外交モニュメント見学】



【名古屋城見学】



《《ピンポン外交記念モニュメント&名古屋城見学の感想（アンケートより抜粋）》》

- ・ 日本や名古屋の歴史を知ることができた。
- ・ 自然豊かな風景と悠久な文化を体験できる歴史的名城。

○14:00～15:30 ミツカンミュージアム見学

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、佐々木主任、中村主事、叢主事
- ・使 用 言 語：日本語、中国語
- ・概 要：ミツカン創業の地、半田市にあるミツカンミュージアムを見学し、酢作りの歴史や日本の食文化の魅力と豊かさを体験しました。

【昼食】



【ミツカンミュージアム見学】



《ミツカンミュージアム見学の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 体験型の博物館で、とても面白かった。解説もわかりやすく勉強になった。
- ・ こんなに立派で面白い民間企業の博物館をはじめて見学できた。

○18:30～19:15 修了式

- ・随 行 職 員：丸山総括専門員、佐々木主任、中村主事、叢主事
- ・概 要：アンケート記載後、参加者一人一人に修了証書が授与されました。



**【第7日目 7月19日（火）】**

○07:00～9:25 KE752便で中部国際空港発

- ・見送り：丸山総括専門員、叢主事



## (参考)参加者アンケート(まとめ)

※対象人数：24人 有効回答数：24人

※【 】内は回答数。

### 1. どうして今回の交流事業に参加しようと思いましたか？チェックしてください。

- (1) 国際交流に興味があるから【19】
- (2) 日本に興味があるから【18】
- (3) 家族や学校の先生に勧められたから【8】
- (4) その他【3】

・ずっと国際交流の仕事に携わってきた。  
・今回の友好交流訪問団の引率を務める。  
・日本の高校生活に興味があった、もっと日本のことを知りたかった。

### 2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？

以下のa~kの中から三つを挙げ、理由を書いてください。

a. 豊田スタジアム【0】

b. 豊田東高校【20】

主な理由：リアルの日本高校生活を体験できた。【16】

同世代の日本人生徒と交流する貴重な機会だった。【6】

生徒がフレンドリーで親切だった。友達ができた。【8】

c. 県庁（副知事表敬）【4】

主な理由：副知事を表敬訪問できて、貴重な体験だった。【4】

d. 名古屋大学【3】

主な理由：日本での留学生活など、今後に役立つ情報を沢山聞いた。【2】

日本の最先端科学技術の成果と学術研究の雰囲気を体験できた。【1】

e. トヨタ自動車・トヨタ会館【3】

主な理由：トヨタの先進的な生産理念・方式・科学技術を見学することができた。【3】

f. とよたエコフルタウン【2】

主な理由：人類と自然の調和の取れた発展コンセプトに触れることができた。【2】

g. 高校生とのディスカッション【18】

主な理由：お互いの国や文化に対する理解を深め、視野を広げることができた。【12】

英語上手な日本人生徒と友達になれた。【8】

自分の英語を試すことができた。【4】

h. ホームステイ【18】

主な理由：日本の一般家庭の生活を体験できた。【15】

沢山の日本人の優しさに触れることができた。【7】

i. ピンポン外交モニュメント【0】

j. 名古屋城 【2】

主な理由：自然豊かな風景と悠久な文化を持つ歴史的名城を見学できた。【2】

k. ミツカンミュージアム 【2】

主な理由：体験型の博物館で、とても面白かった。解説もわかりやすく勉強になった。【2】

3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

(1) 豊田東高校訪問

- ・ 同世代の日本人生徒の高校生活を体験できて、勉強になった。
- ・ 専門の清掃員がいないにもかかわらず、校舎がとても綺麗だった。
- ・ 勉強だけでなく、クラブ活動が豊富で、学校生活が充実している。
- ・ 生徒達皆活発で、親切に接してくれた。
- ・ 英語が不得意でも私達のことを理解しようと一所懸命話しかけてくれた。
- ・ 同世代の友達ができ、交流を楽しめた。

(2) 高校生とのディスカッション

- ・ 英語でのディスカッションを通じて、両国の様々な異同点を沢山学んだ。
- ・ 生徒達皆英語上手なだけでなく、知識も豊富だった。有意義な意見交換ができた。
- ・ 自分の英語力を試すことができた。
- ・ 新しい日本人の友達ができた。帰国しても、連絡を取り続けたい。
- ・ もっと深く議論したかった。
- ・ 先生の進行が上手だった。皆積極的ディスカッションに参加できた。

(3) ホームステイ

- ・ ホストファミリーが皆親切で、温かくもてなしてくれた。
- ・ 日本の一般家庭の日常生活を体験できて、素晴らしい経験だった。
- ・ 単なる観光では体験できなかった日本の風土や人情に触れて、リアルな日本生活を体験できた。
- ・ 日本の家庭生活を体験する貴重な機会だった。自分自身の人と物事の接し方にも良い影響を与えてくれた。
- ・ 一般日本民衆の角度から客観的に日本をみることができた。

4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・ 一部の高校生やホストファミリーの英語が上手ではなかったため、交流するのに少し不便に感じた。【9】
- ・ 中国との食習慣が違って、お弁当が冷たかった。【7】
- ・ もう少し滞在時間を延ばしてほしい。【2】
- ・ 急ぎすぎたプログラムもあった。もう少し時間的余裕を設けてほしかった。【1】
- ・ ショッピングの時間が少ない。【1】

5. このような交流事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問【9】
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験【18】
- (3) 地元企業の訪問【13】
- (4) 高校生や大学生との交流【23】
- (5) ホームステイ【20】
- (6) その他【6】

- ・科学技術館、展覧会、図書館を見学する
- ・色んな交通機関を体験する
- ・日本の高校の普段の授業を体験する
- ・名勝古跡を見学する
- ・同世代の日本人高校生の生活体験
- ・引率先生にも日本の先生と交流できる機会を設けてほしい

6. 日本・愛知県の魅力はどんなところだと思いますか？

例：歴史、食べ物、ものづくり産業、ポップカルチャー（ファッション、漫画・アニメ）など

- ・歴史【9】
- ・環境先進県【4】
- ・ものづくり産業【18】
- ・博物館【2】
- ・食べ物【9】
- ・景色【1】
- ・科学技術【1】
- ・ポップカルチャー【4】
- ・人【4】
- ・街【2】
- ・大学【1】

7. 全体について、感想を記入してください。

- 今回の愛知県訪問を通じて、私は人と人、人と自然お互い尊重しあう関係を築き上げている日本のことはとても素晴らしいと思った。青少年は国の将来である、私たちが客観的に日本のことを見られるようになるのが将来の日中関係発展のカギになると信じている。
- 視野を広げることができた。礼儀正しくて、どんな小さいことでも真面目に取り込む姿など、私たち日本から沢山のことを勉強しなければいけないと思った。
- 同世代の日本人生徒との交流を通じて、視野と見識を広げることができた。見学する場所も単なる旅行と違って、今までと異なる視点から物事を見ることによって、新たな日本の一面を体験することができた。
- 日本と中国は共通点も多いが、相違点も沢山ある。以前、日本のことあんまり好きではなかった、今この考えを改まらなければいけないと思った。日本は私が今まで見てきた中で一番きれいな国であり、国民の素質も高い。日本人も親切で、仕事熱心な方が多い。
- 偏見を持たずに、草の根レベルの交流を深めることが両国の人々の誤解を解き、新たな交流の形を作ることができると思った。
- プログラムを通じて、愛知県各地の文化と風土に対する理解を深めることができただけでなく、日本の皆様が私たちに対する友好的な気持ちを感じることもできた。今後このような機会があれば、また参加したいと思った。